

令和 7 年度第 2 回 米子市建設工事等入札・契約審議会 議事録（概要）

1 開催概要

日 時：令和8年2月5日（木）午後1時55分～午後3時50分

場 所：米子市役所本庁舎5階 議会第1会議室

出席者：委 員 黒岩正光（会長）、青戸光一（副会長）、松本裕吉、中島美智子、
竹下純子、齋藤博美

事務局 総務部 藤岡部長

契約検査課 前田次長、野口係長、鶴亀係長

工事所管課 営繕課、下水道整備課、都市整備課、道路整備課、淀江振興課、
農林課、上下水道局

2 開会・体制

(1) 総務部長あいさつ

公共工事を取り巻く環境（物価高騰・人材不足）の厳しさを説明。

入札制度の透明性・公平性・競争性の確保の重要性を強調。

委員の改選（任期：令和 8 年 2 月 1 日～令和 10 年 1 月 31 日）を報告。

(2) 会長・副会長選出

会長に黒岩委員を選出。

副会長に青戸委員を指名。

黒岩会長より、物価高騰対応や人材不足の中での公平な発注、若手育成への配慮の
必要性が述べられた。

3 議事

議題（1）令和 7 年度上半期の発注状況

○事務局説明（概要）

・工事契約

発注件数：118 件

契約金額：約 49 億 4,800 万円

平均落札率：91.5%

市長選による骨格予算の影響で件数・金額とも前年度より減少。

・業務委託

発注件数：91 件

契約金額：約 9 億 3,000 万円

平均落札率：93.5%

随意契約の落札率が 85.1%と低下(1号随契で最低制限価格なしの案件が影響)。

○主な質疑

■ 随意契約減少の理由（黒岩会長）

事務局回答

- ・ 物価・労務単価上昇により、少額随契基準額（改正前 130 万円）を超える案件が増え、入札へ移行したため。

■ 大型工事と小規模随契の落札率差、大型工事は落札率が極めて高い（約 99%）。
小規模随契は低い（85%）。是正の必要性を指摘（松本委員）

事務局回答

- ・ 随契は最低制限価格を設けていないため低落札率が生じ得る。
- ・ 高額工事は JV や高度技術を要するため予定価格に近づきやすい。

■ 随契の手續期間と迅速性（黒岩会長）

事務局回答

- ・ 随契は入札より短期間で契約可能。工事着手の遅れは生じにくいとの説明。

議題（2）入札及び契約の運用状況（抽出案件審議）

■ 配置技術者の重複と自動失格（青戸委員）

- ・ 総合評価案件で「重複による自動失格」が発生。
- ・ 高額案件から順に落札し、以降は失格となる仕組み。

事務局説明

- ・ 電子入札導入（令和 7 年 8 月～）により運用変更。
- ・ 技術者配置不可となる場合を自動失格処理。
- ・ 受注可能件数を事前届出させる方式へ移行。

■ 総合評価方式の評価基準（黒岩会長）

- ・ 技術者点数、事業者点数の算定方法の透明性を確認。
- ・ 加点制度の有無を質問。

事務局回答

- ・ 過去 3 年間の工事成績に基づき算定。
- ・ 受注減点制度により受注集中を抑制。
- ・ 評価基準要綱は提示可能。

■ 1 者入札の増加（竹下委員・青戸委員）

- ・ 実質 1 者入札が多い状況を指摘。
- ・ 指名範囲拡大等の検討状況を確認。

事務局回答

- ・技術者不足が大きな要因。
- ・3000 万円以上工事で 78 件中 26 件が申込なし。

対策：発注時期の平準化

債務負担行為（ゼロ債）活用

等級範囲拡大発注

■ 100%落札の妥当性（黒岩会長）

事務局回答

- ・予定価格＝積算基準に基づく適正価格であり、100%は適正範囲内と説明。

■ 落札率 37.7%の随契案件（中島委員）

- ・市道照明灯設置工事で極端に低落札。

事務局回答

- ・少額随契で最低制限価格なし。
- ・材料を安価調達可能との業者判断。
- ・ただし、随契では内訳書は徴収していない。

黒岩会長より、品質確保の観点から内訳確認の必要性を指摘。

■ 浄水場電気設備更新工事（松本委員）

- ・約 2.6 億円、1 者入札。
- ・予定価格との差がわずか 2 万円。
- ・競争性確保策を問う。

上下水道局回答

- ・他社参入可能な設計としたが技術者不足により 1 者。
- ・今後は発注時期等を工夫する。

■ 予算議決から入札までの期間（松本委員）

- ・物価上昇下での期間短縮を提案。

事務局回答

- ・積算は発注直前の単価を反映。
- ・ゼロ債活用により早期発注も実施。

議題（3）その他

■ 電子入札導入による変更点

- ・辞退届を電子入力方式へ変更。

- ・ 辞退理由の記載欄は廃止。
- ・ 重複案件は自動失格処理。
- ・ 今後も制度改善を継続すると説明。

4 まとめ

本審議会では、

- ・ 1 者入札増加
- ・ 技術者不足
- ・ 随意契約の低落札率
- ・ 総合評価方式の透明性
- ・ 電子入札導入後の運用

について活発な質疑が行われた。

競争性確保と品質確保の両立、制度運用の透明性向上が今後の重要課題として確認された。

5 閉会

事務局より閉会挨拶。

午後 3 時 50 分閉会。